

卒業論文要旨

多官能電子不足アルケンを前駆体としたピロリジジンの合成

1150213 川上 舟

Synthesis of Pyrrolizidines from Polyfunctionalized Electron-Deficient Alkenes

Shu Kawakami

Pyrrolizidine は非ステロイド性の抗炎症薬や種々の生理活性物質の部分構造としてしばしば見られる骨格であり重要である。従って本骨格を簡便に合成する方法の開発が望まれる。

本研究では DEMO (ジエチルメソキサレート) と活性メチレン化合物を作用させることで多官能アルコールへと変換した後、脱水することにより多官能電子不足アルケン **2** を合成した。続いて **2** の高い求電子性を利用し、pyrrole とのマイケル付加で **3** を得た後、分子内閉環により Pyrrolizidine 誘導体 **4** を合成することに成功した。

